



一度きりの人生を、 職人として格好良く 生きたい

顔の見える仕事をする
ことで、お客様も安心でき、それが次の受注に繋がることもあります。建築業界は、頑固で怖いイメージがあると思います



休日は自作のバイクでツーリングへ

が、細かなフォローで、気軽に相談できる関係づくりに心掛け、イメージを変えていけたらと思っています。

今度は自分が送り出す側になりたい

今後は、自社と建築板金業の認知度をアップして事業を拡大していくと共に、職人の育成もしていきたいと思っています。これまでの経験・技術を若手に引継ぎ、自分と同じように独立したいと思った時には喜んで背中を押してあげたいです！今年息子が塗装業に就職し、将来は一緒に仕事が出来たらいいねとってくれています。今はそれを目指して、事業を継続させ、いつまでも格好良い職人でいられるように頑張りたいと思います。



※山口起業カレッジとは
起業に興味がある方から起業後間もない方までを対象に、各段階に合わせて起業の基礎知識から学び、実践的な事業計画の作成までを行うセミナーです。今年度は7/17から開催します。



UG 板金飾職

代表者：吉富 祐志
所在地：山口市大内御堀 1502 - 20

TEL・FAX：083 - 927 - 8455
事業内容：建築板金

職人への憧れ

私の人生に大きな影響を与えた人に、近所の瓦屋の親父さんがいます。小さい頃から作業現場を覗かせてもらう機会があり、日焼けをした体で、家を作り上げていく背中はとても格好良く、自分も将来は職人になりたいと思うようになりました。仕事以外にも、車やバイクの面白さも教えて貰い、息子さんと一緒に事業をされている今でも、交流を続けています。自分自身も昔から物づくりが大好きで、オモチャをバラして組み立てるのはいつものことでした。自分で作り上げたバイクが事務所にありますが、これは宝物です。

建築板金の道へ

高校を卒業し、車の整備士を目指して県外の専門学校に通いました。その後山口に戻った際、以前バイトをしていた建築板金屋から声が掛かり、勤めることになりました。当時は10代だったので夢中で仕事をしていましたが、20歳の時に一度立ち止まって「自分は何かをしたいのか?」をじっくり考え、今後は独立を目標として、改めて建築板金の道を進むことを決めました。それから20年、住宅・商業ビル・病院・寺社など多くの施工に携わり、技術面では、1



施工現場

級建築板金技能士(国家資格)の他、多数の資格を取得しながら腕を磨きました。

自分がやりたい事ができるのが起業

起業に向けて動き出そうと思った時に出会ったのが、商工会議所の起業カレッジ(※)でした。事業計画を作るのは大変でしたが、夢に近づいていると思うと楽しかったです。最終日のプレゼンテーションでは、建築板金業はなかなかイメージしづらい業種なので、銅板細工



ビジネスドラフトやまぐちにも参加

を持参しました。すると、思った以上に反応が良く、講師からは銅板細工も事業に加えたらいいというアドバイスを頂きました。銅板細工は好きでしたが、勤めていた時には建物の施工だけだったので、世界が広がった感じがしてワクワクしました。これが独立、自分のやりたい事が出来る場だと思いました。

1人だから出来る細かなフォロー

平成27年10月に開業してから、毎日があっという間でした。勤めていた頃は、受注量も多いので、1つの現場を早く仕上げることが大事で、施工後の現場を訪れることもなかなか出来ませんでした。独立した今は、丁寧な仕事とアフターフォローを心掛けています。